



パンジー

春、ビロードのような艶をもつパンジーの花は、軽やかに舞い飛ぶ蝶を思わせます。

パンジーは、ヨーロッパが原産地で、花の模様が物思いに耽る人の顔を連想させることから、考える、思うを意味するフランス語の“パンセ”(penser)が語源となっています。

日本には江戸時代末期に渡来し、「遊蝶花」、「胡蝶花」、また、一般に白、黄、紫の3色で彩られているため、「三色すみれ」などの和名があります。現在では、単色のものや色変りのものがありますが、パンジーの白は忠実、黄は勇気、紫は思慮を意味し、この3つが揃って完全な人格を表すというたとえもあります。

「パンジーの花の畠に夕風の
いたく寒けくひるがへり吹く」

土屋文明

さ

い

じ

き